

協 議 会 議 事 録	
会議名	平成 21 年度第 2 回江田島市公共交通協議会
日 時	平成 21 年 10 月 9 日（金）13：30～15：20
出席者	別紙出席者名簿
1 開会	
事務局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会長	あいさつ
3 議長選任	
事務局	前回選任しているとおり，野原委員を議長に選任
4 報告	
(1) 協議会の規約等について	
事務局	資料 1 により説明
(1) 承認	
(2) 協議会の取組状況について	
(2-1) 地域公共交通総合連携計画策定業務委託について	
事務局	資料 2， 3 により説明
(2-2) 業務計画書について	
事務局 (コンサル)	資料 4 及びパワーポイントにより説明
(2-3) 業務の進捗状況等について	
事務局 (コンサル)	資料 5-1, 5-2 及びパワーポイントにより説明
議長	・アンケート調査表については，私と岡山委員の了解を得たとの説明であったが，概ねこれでよいといったものである。
委員	・業務計画書の協議会の策定業務のスケジュールについて，今後，計画を取りまとめて，骨子が出てくることになっているが，非常にタイトなスケジュールのため，時間がなく，協議会で審議できないようなことにならないか。
事務局 (コンサル)	・協議会の流れは，次回 11 月に調査の結果からの現況と課題，計画に位置づける事業，運行計画案の概要を見ていただき，12 月の第 4 回にモデル地区の意見交換会の結果報告，連携計画の骨子として中間取りまとめを見ていただく。 ・続いて 1 月の第 5 回については，概ね第 4 回の意見を踏まえて踏み込んだものを見ていただき，2 月の終わりに完成版を見ていただきたいと思っている。
議長	・第 5 回が 1 月の開催となっているが，それまでにまとめを見ることができるのか。

事務局 (コンサル)	・1月の協議会で原案を見ていただき,1か月かけて完成させていく。
議長	・2月に完成への作業をするという事か。
事務局 (コンサル)	・そうである。
委員	・12月には概要ができていくという事か。
事務局 (コンサル)	・概ねの項目出しはできると思う。
議長	・非常にタイトであり,委員の中には間に合うかとの懸念もあるが,間に合うという事である。 ・高齢者を対象とした地域公共交通の実証運行の計画があるがこれは何月ごろか。
事務局 (コンサル)	・実証運行は次年度以降である。
議長	・高齢化率の高い地域によりバラついているが,調査の結果から重点的にやっていくという事でいいのか。
事務局 (コンサル)	・そのことについては次の協議事項で説明させてもらう。
議長	・民生委員アンケートは調査項目が漠然としているが,これで実態が把握できるのか。
事務局 (コンサル)	・昨年度の住民アンケートの結果を整理した上で,もう少し踏み込んだ情報の整理のため,民生委員さんに自由な記述で回答していただきたい。
議長	・高齢者でも男性と女性では違った状況になると思うが,そのあたりの把握はどう考えているか。
事務局 (コンサル)	・確かに免許保有率などでも違いがあるが,今回の調査はあまりそこには触れずに,自由に回答してもらう。
議長	・それで本当の実態がわかるのか。
事務局 (コンサル)	・昨年度のアンケート調査と併せて分析したい。また,実際の運行計画を作成する時点では,地域と協働で意見を吸い上げて行きたい。
議長	・高齢者の交通を考える上では緻密な調査が必要であり,それを背景として,実証運行をするべきだと思うが,そこは大丈夫であるという事でこのとおりに進めていく。
5 協議	
交通空白不便地域モデル地区の選定について	
事務局 (コンサル)	資料6及びパワーポイントにより説明
委員	・モデル地区の選定について地元の熱心な意見と言う表現であったがせつかくデータがたくさんあるので,何か基準が必要ではないか。

委員	・いろいろな市町の会議に出るが,市の方から押し付けで行くとなかなかうまくいかない。そこで協働により地域に意欲がないとなかなか進まない。一定の基準を作って,その中で地域の意欲や組織から情熱のある方を引き出して行うべきである。
事務局	・一定の基準はご指摘のとおりである。基準のもと自治会分科会において,協議してやっていきたい。
事務局 (コンサル)	・基準については,高齢化率や地形などにより公平な目でピックアップしていきたい。その上でモデル地区としては,地域の熱心さなどで選定したい。
議長	・バス停までの距離だけでは実態はわからないと思う。地形の高低などにより,数字では分からないつらさがあると思うのでそのあたりも加味して欲しい。
委員	・22年度の実証実験はバスだけか。
事務局	・交通空白不便地域のモデル地区の選定についてこのような説明をさせてもらった。航路関係等その他のことについても出てくれば計画に盛り込み実証実験を行う予定である。
議長	・若干の修正はあるが,このように進めていくことで承認とする。
6 その他	
三高・大須～宇品航路の現状について	
事務局	資料7により説明 ・この協議会で航路の再編は一つのテーマとして挙げており,本来であれば各種調査等の結果から,方向性を出していくのが本来であるが,西能美島航路の一元化を前提にした議論をお願いできないだろうか。
委員	・一元化を前提として議論していくことであるが,第2回の今の段階で何もわからないまま了承して欲しいというのはおかしいのではないか。
事務局	・今後行うコンジョイント調査について,一元化を前提とした調査とさせて欲しいというお願いである。
委員	・スケジュールより早く一元化を表に出すのはおかしいのではないかという事である。これが先走り,住民の中に広がっていけば,調査自体もううまくいかなくなるのではないか。
会長	・航路の再編は協議会において大きな狙いであるのでじっくり検討していきたいが,現実の対応として,調査結果が出てからの議論では遅く,目指す方向としても間違っていないので並行して議論させていただきたい。現在直面している課題に対して迅速に対応することで,こちらの協議も円滑に進むのではないかと考えている。
委員	・一元化ありきの協議会になるのではないかと危惧を抱いていたが,実際に本日議題として出てきた。私は住民代表であるが,能美地区の住民にとっては非常にデリケートな問題であるため,この場です承することはいろんな問題がある。住民感情を汲んだもので議論して欲しい。 ・第2回のこの場では賛成はできない。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の合理化を考えれば一元化は考えられるが、どこの港に一元化するなどいろいろな問題がある中で、資料を見れば三高に一元化する方向で書かれている。これをこの方向に協議会が向いたとなれば問題があると思う。もっとコンセンサス得て慎重に取り組む必要があると考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市が現在置かれている状況から1つずつ問題を解決していく必要があるが、全体を見るとたくさん航路がある中でそこだけの問題なのかという思いがある。 ・市として全体の航路に視点をおきながら当面の課題として西能美島航路を議論していくべきであり、さらに利用者の意見を多く取り入れて考えていかなくてはいけない。きっかけとしてはこの協議会が一番議論しやすい機関ではないかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・船会社からしてみれば、減便は断腸の思いである。経営状況の厳しい中で維持はして行きたいが誰が赤字を補てんしてくれるかという所である。 ・協議会の中で民間の航路と市営の航路についてどうやってうまくやっていくかという議論が必要だと思うので臨機応変に対応して欲しい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・この問題について、他に議論する場がないのでこの協議会で並行して議論を重ねることで議論を深めていく方向でいいか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・一元化を了解してもらうという事ではなく、議論のテーブルに載せさせてもらって、その上でアンケート調査等により裏付けができればそれに基づき、実験運航を行い、進めていきたい。 ・市として現実的な対応に迫られている中で、ご意見をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の三高港への一元化という表現は修正した方がいい。我々は説明を受けたのでわかるが、この資料が外部に出た場合、反響が大きい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この協議会では公平であり透明性があり、さらに客観的な議論をして行く必要がある、その上で結論を出していく必要がある。よりいっそう真剣に取り組んでほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後行うコンジョイント調査で一元化に対する調査項目では混乱を招く恐れはあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一元化という言葉がまだ具体的に出ていない中で、一元化という言葉が一人歩きする恐れはある。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・一元化や前倒しという表現が誤解を招くようであればそれを修正して進めていくよう事務局は確認して欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会としては、旧4町に連合会があり、それぞれに温度差があり、陸上交通、海上交通においても関心度のウエイトが違う。それぞれに対応できるようにということと、しっかりと住民を説得できるようなデータを示して進めていくようお願いする。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体のことを考えて、西能美航路の再編として取扱い、その中の一つとして一元化を検討していくようにしていきたい。

議長	・それではその方向で議論していくという事で了解していただきたい。
委員	・次回の会議はいつになるか。
事務局	・スケジュール的には11月の半ばであるが、また相談させていただきたい。第2週ぐらいで考えていきたい。
7 閉会	